

ゴウ
黒田剛
(14)

ミサキ
藤原美咲
(14)

—それで
話ってなに?
さっさと済ませて

彼氏いねえ
んだろ?
美咲

俺の女に
なれよ

私あなたみたいな
気安く女子に触れる
クズに興味ないから

それにタバコ臭い
離れて
吐き気がする







お前停学が解けて
2週間も経ってない
だろ？



ぶん殴られる
前によ笑

はっ雑魚は
引っ込んでけ

優斗…



今やめるのが
身のためだ

ユウト
佐藤優斗
(14)



また学校に
呼び出されても
いいのか

もう一度停学
くらってみろ
次は退学処分だ

そういえば…
お前の父親かなり
厳しそうだっとな…
たしか軍に勤めてる
んだっけ？



このクソ野郎
がッ!!

モブどもに少しチャホヤ
されてるからって
調子乗ってんじゃねえぞ
アアン?!

お前こそっ...
校内でしか
イキれない
雑魚だろっ...

口だけは達者だな
このクズがッ!



てめえ...

マジで殺されたい
らしいな...?

子供の頃から
誰よりも強く
なりたかった...
だけど
俺は病弱だった



ははっ...
そうやって
すぐ手を出せば...

強く見えるとしても
思ってるのか?

ムキになれば
なるほど...
弱く見えるぞ...

そんなにケンカ
売りたいなら
アタシが買って
やるって

リョウコ
高橋涼子
(15)

だから俺が選んだ道は
俺なりのやり方で
誰にも文句を言わせず
認めさせること

常に学業では
トップの成績を
維持し続けた上に

スパarring
したいなら
いつでも来な

ガ
シ

ぐう…

うんざりするほど
付き合ってるからさ!

グ
イ
ッ

これ以上
醜態晒したく
ないなら
タップしな

クソがアツ!

涼子…
もういい…
大丈夫だから

え?
あ…
うん



っざけんな
クソがッ!
偉そうに
しやがって...!

だからお前も
美咲に謝れ

パンッ

そうして
築き上げた
俺の評判は
暴力などには
負けなかった



誰にでも親切に
常に模範である
よう努めた

ほら立てよ
親父さんの話を
出したことは謝る

ズッ



逃げないで
謝りなさいよ!!

このままいけば
きつと社会に出ても
エリートになれるはず...

いや...必ず
なってみせる



そうよ!
優斗くんの言う通り
美咲に謝りなさい!

謝れ!!

謝れー!!
謝れって
言ってるだろ!

黙れッ!!!

頭下げろ!

おい剛!!
またお前か?!
今すぐ職員室に
来い!!

誰がためえの指図
なんか受けるか
このハゲ

な...なんだと
この礼儀知らずが!!

おい 優斗...
これで終わりだと
思うなよ

いつか必ず
叩き潰してやる

だけど...
その時の俺は
知らなかった

このガキ!!
明日保護者を
連れてこい!

あーあ 残念
やつと面白く
なってきたとこ
だったのに

俺たちの
悪縁は

まるで
運命みたいに
断ち切れないもの
だったことを...

あの子は昔から
変わらないわね…
小さい頃から
いつも優斗のこと
実の姉みたいに
守ってくれて…

涼子ちゃんから
心配だって
連絡があったわよ…
あなたが
電話に出ないって

ああ
そうなんだ

ええ…
一度連絡して
あげなさい

それと…
担任の先生とも
お電話したんだけど
あの子…黒田くん
学校辞めたそうよ

そういえば
あの子も
お父さんと
二人暮らしだって
聞いたわ…

ユカ
佐藤由佳
(33)

なんだか可哀想ね…
ちゃんと面倒を見て
もらえなかったの
かしら…

全部アイツ自身が
やってきたことだ
なら全ての責任は
アイツにある

環境のせいに
するなんて
卑怯者の
することだ…

…お母さんね
優斗のそういうところ
本当に立派だと思う
いつも感謝してるわ…





あ…
そ…
そ…
その…



こんな
遅い時間に…
どうやって
来たんだ？

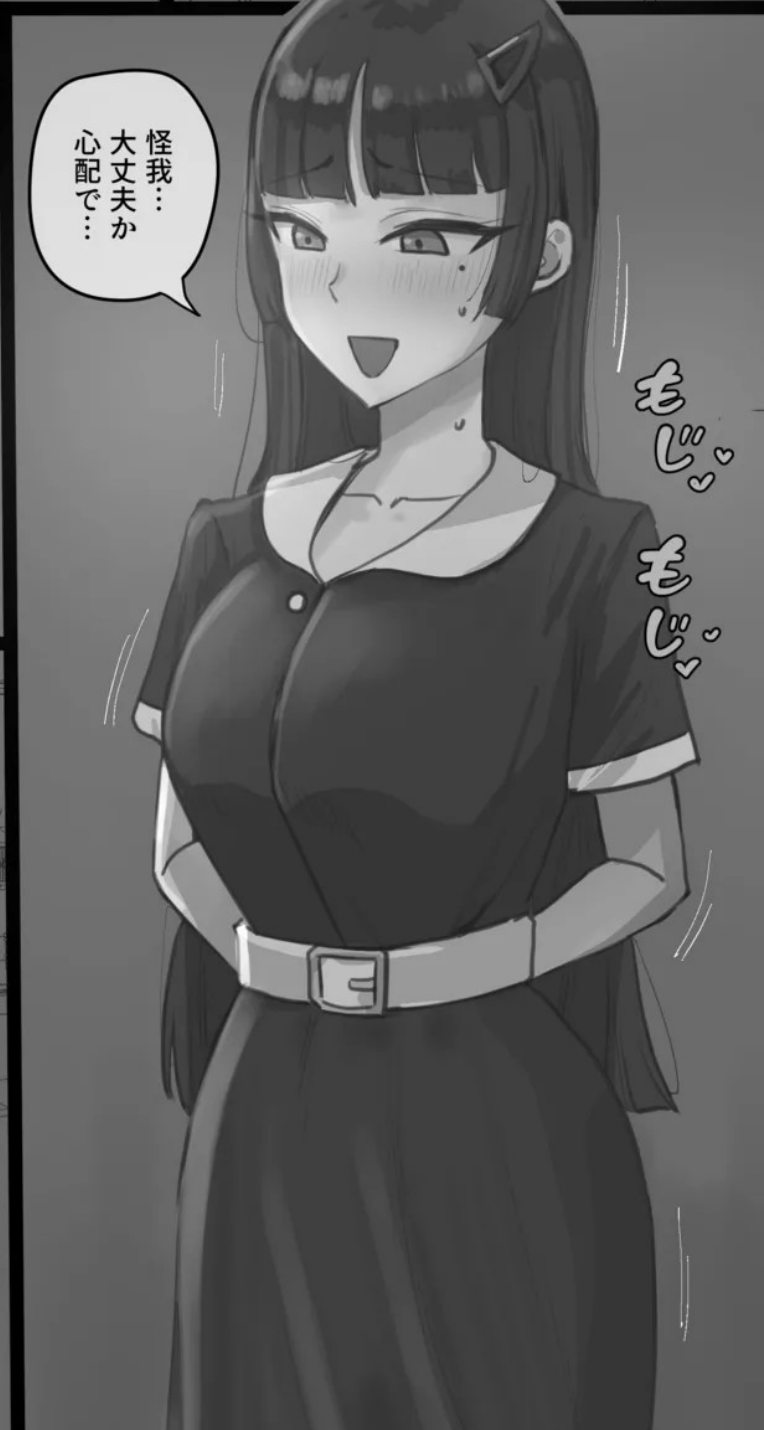
お礼なら
学校で十分
聞いたけど…



あそうだ…
これ…

桃のジャム…
私が作ったの…

本当…？
ありがとう
大事に食べるよ



怪我…
大丈夫か
心配で…

もじ♡
もじ♡



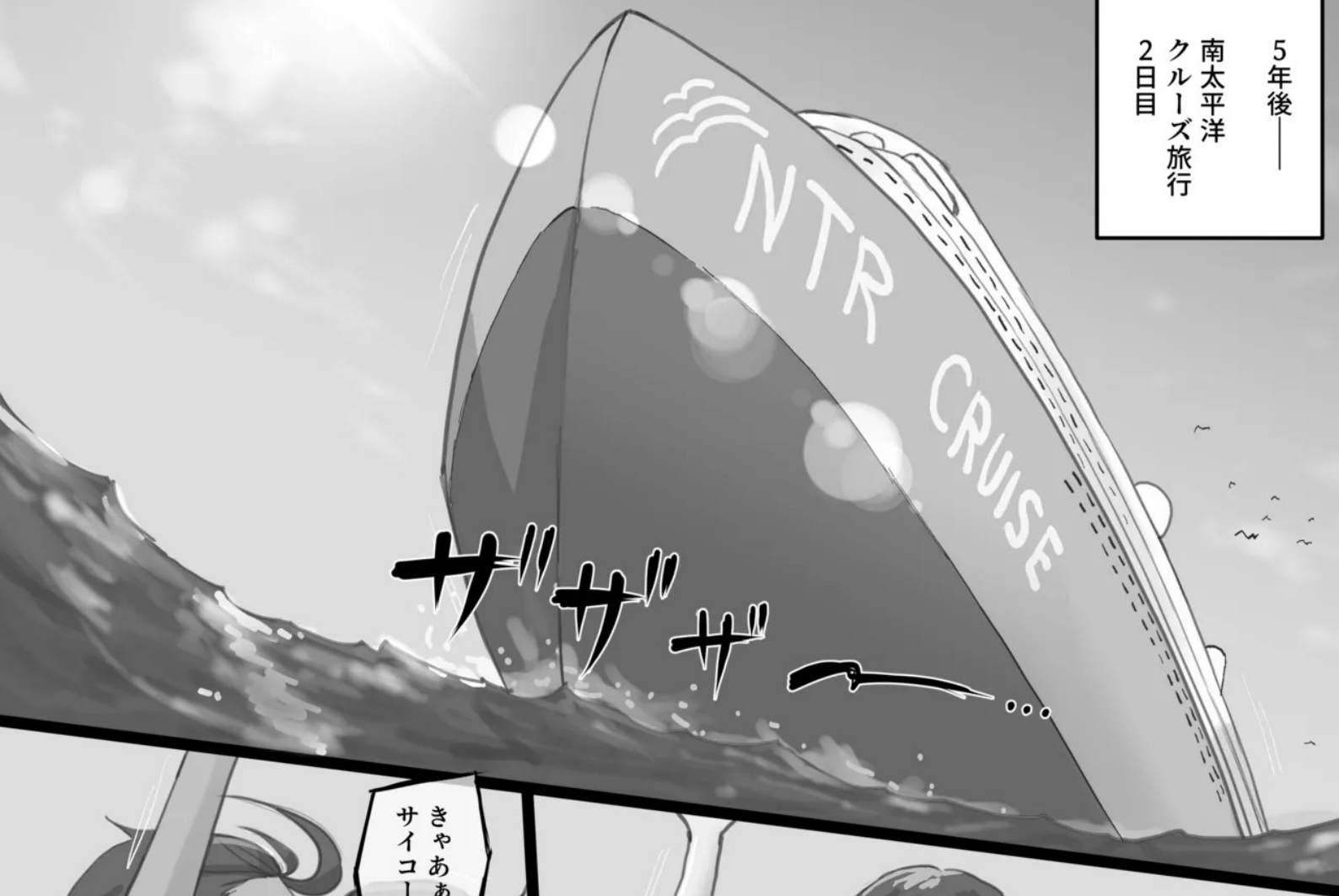
美咲お嬢様
もう遅い時間です
そろそろお戻りを

あ…
はい…





5年後—
南太平洋
クルーズ旅行
2日目



きやあああ!
サイコー!!



はあ：優斗!!
シラけること
言わないの!
アタシが直々に
スタイリング
したんだから

自分の理想を
俺の母親に
押し付けるの
やめろ



私は
気に入ってるわよ?
久しぶりに
昔を思い出すし:
フフフ

いくらなんでも
母さんの水着
大胆すぎないか
...?



あらほんと?
ほら優斗
美咲ちゃんも
褒めてくれてる
じゃない

おばさま
すごく綺麗で
ずっとお若く
見えます

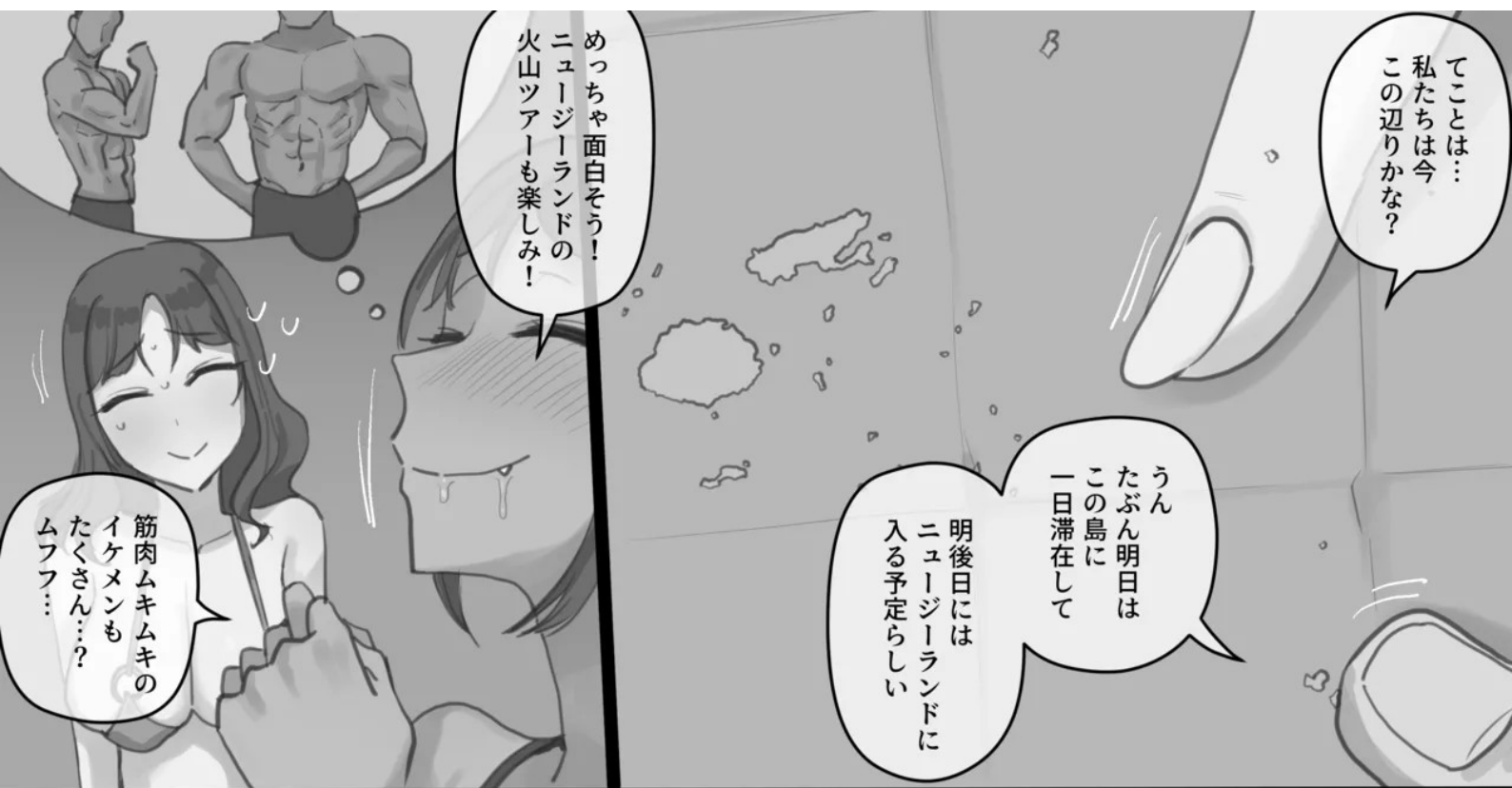
ほんとセンスない
なんでこんな奴が
美咲の彼氏で
いられるのか
理解に苦しむわ

うっ:
うるさいな!
それより
明日滞在する
島の計画
立てようぜ



なんだとっ?!
アタシが
貧乳だって
言いたいの?!

な：なんで
そうなんだよ?!



てことは…
私たちは今
この辺りかな？

うん
たぶん明日は
この島に
一日滞在して

明後日には
ニュージーランドに
入る予定らしい

めっちゃ面白そう！
ニュージーランドの
火山ツアーも楽しみ！

筋肉ムキムキの
イケメンも
たくさん…？
ムフフ…



ちょっと優斗…
二人きりの時も
そんなつまらない話
ばっかしてるワケ？

私たちは
退散するから
美咲ちゃんと
熱い時間を
過ごさないな…



そういえば
この地域って
火山がすごく
多いのね

この近辺は
プレートが
ぶつかり合う
場所だから…

あっそうか！
授業で習った
環太平洋火山帯
ってここなんだ…



にしても…
こんなところで
会うとはな

このっ…!
いきなり
何すんのよ!!

おっ…美咲か
相変わらず
イイ女だな笑
結局優斗と
くっついたのか
ウケるな

そんで
こっちの女は?
お前らの姉か?

こりやまた
暴力的な
パイオツ
してんなあ

おいっ彼女は
優斗のお母さんだ
言葉に気をつけろ!

は?
優斗のお袋?
マジかよ笑

な…何
この硬い身体…
本当にコイツ
あの黒田なの?

コイツ…
見ない間に
随分とデカく
なったじゃない

フー…

息子とは違って
情熱的っすね笑

モゾ
モゾ

ギンギンに
なっちまった

アンタ頭おかしい
んじゃないの?!
セクハラだから!!
今すぐ謝りなさい!

ったく…
うるせえ
まな板だな
笑

もしかして
この子が…
あの時学校を
辞めた…?!

想像していたより
ずっと危険な雰囲気…

んだと?!

これだけ
無茶苦茶なら
関わらない方
がいい…

もういいわ
行きましょう
涼子ちゃん…

ああそうだ…
あのスパーの話
まだ有効か?

コイツ…

その手を
放せ!!
黒田!

乗客の皆様には船長より
お知らせいたします
ただいま近隣海域にて
大規模な地震が発生
当海域に津波警報が
発令されました

緊急事態発生！
緊急事態発生！

ただちに客室へ
お戻りください
甲板への移動は
固く禁止いたします

もう一度
彼女たちに
触れてみる
次は……

なんだよ
この海流の動き……！

緊急事態発生！
緊急事態発生！

え？
いきなり何
津波？

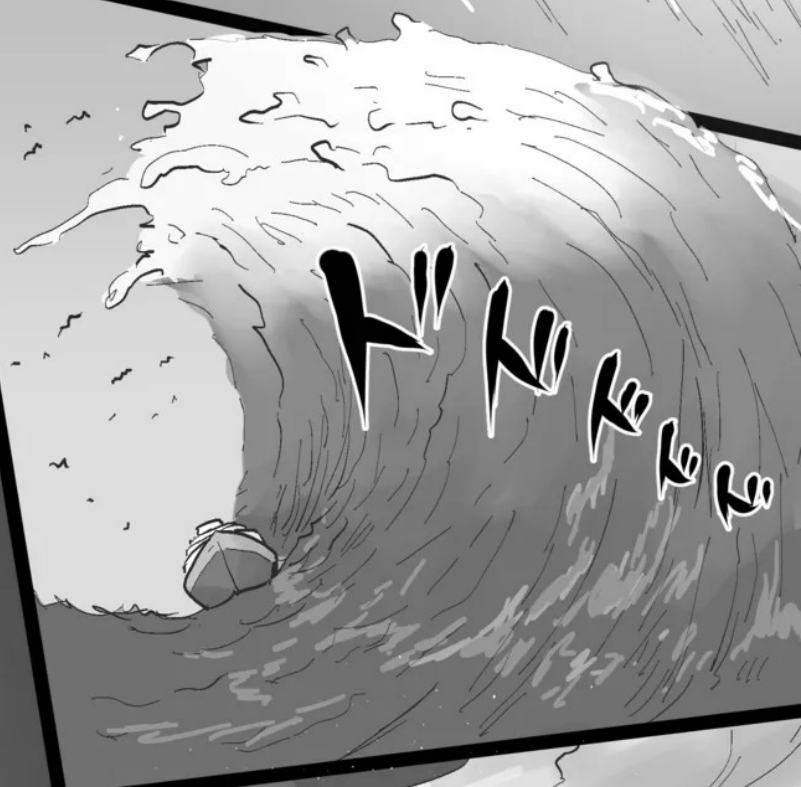
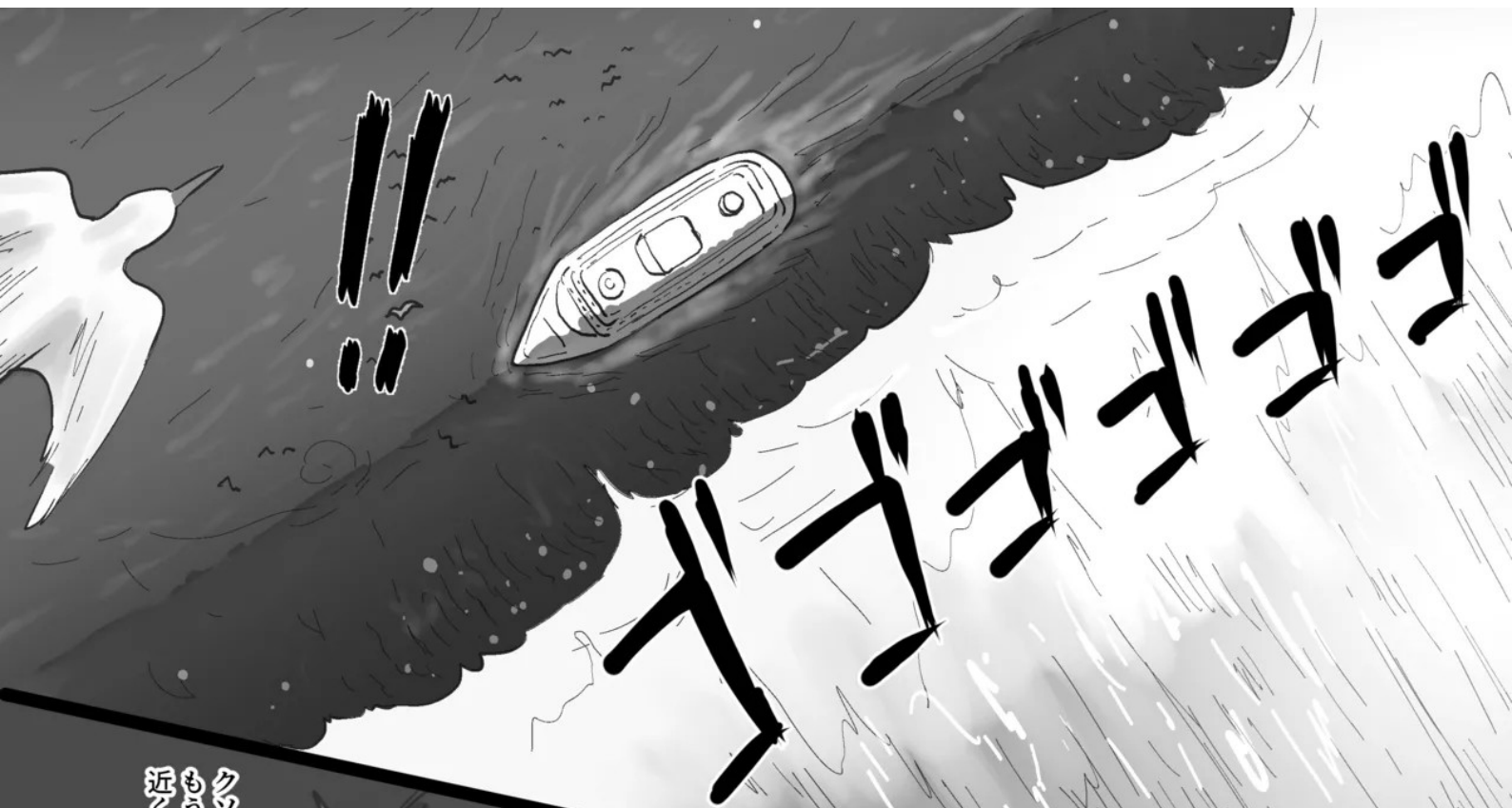
乗組員の指示に従い
救命胴衣の着用準備を
してください！
繰り返し申し上げます

ははっ……
ドッキリか
なんかだろ……

これって……
もしかして……
とんでもない……

うわあああ……！！
あ……あれっ！

ザッ
ザッ
ザッ



DAY-01

事故発生から
6時間後

まったく
生きてるってのは
最高だな…
だろ？

んっ…でも…
本当に見たの…？
嘘じゃないわよね？

間違いねえって…
木箱に掴まった
美咲と優斗の二人が
流されてった

はあ…
はあっ

あ
あっ

ザザ
…

ザザ
…

だから
安心しな
アイツら
絶対生
きてるさ

涼子ちゃん…
ごめんなさい…
手を離しちゃって…
無事かしら？
お願いみんな
生きていて…

んう…

かあ…!!
お婆さんの
Kカップおっぱい
マジで極上だな…
もちもちで…
弾力も最高だぜ…

ムニョ〜♡♡

ムニョ♡♡

なんですって?!
約束が違うじゃない!

胸を好きに
させてくれたら
明日すぐにあの島へ
連れて行くって…!!

あー…でも
やっぱ今日は
無理したからか
ちと疲れたわ
回復するには
ここで一週間は
休まねえとな?

お婆さん
ウブなんだな
ククッ

ギョ〜♡♡

たかが脂肪の塊を
揉ませただけで
俺をコキ使うつもり
だったのか？

クソ野郎…

はぁ…

ん…

あ…

スリ

スリ

お…乳首ビンビンに
硬くなってんぜ♥
ほらここでやめたら
おばさんも
物足りねえだろ？♥

待ちなさ…

あぁあぁあぁ

俺は命の恩人だぜ？
全てを差し出したって
足りねえくらいなのに
デカイ乳に反して
器はちっせえなく

いいから
俺を喜ばせてみる
俺もそれ相応の
お返しをしてやる
ギブアンドテイクが
俺の信条なんでな

ぎゅっ

あ

ぐりぐり

おら...
さっさと
股開けよ♥

もう
びしょ濡れに
なってるんだろ

待って!
黒田くん...

ああ...?

それじゃ...口で...
口でしてあげる...
それで十分でしょ?
ね?

いらねえな

いやっ...

俺が今
気になってんのは
ここなんだよ...♥

あのクソ優斗を
産んだ
この場所がな



嘘だろ…
どうして…

こんな
大きな無人島に
俺たち3人だけ
なんて…

俺が旅行なんて
言わなければ
こんなことには…



そう！
美咲の言う通り

私が二人より
少し遅れて
島に流れ着いた
んだから

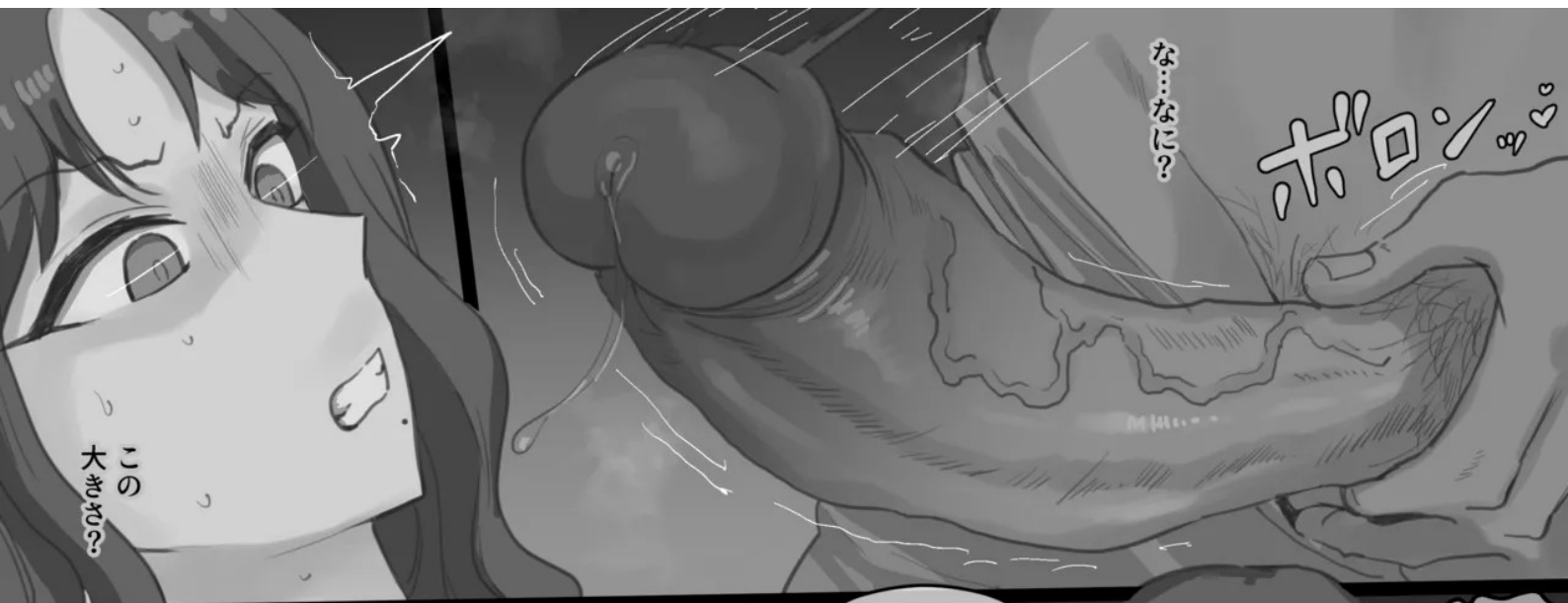


おばさんも
近くの島に
いるはずよ
きっと…



優斗のせい
じゃないわ
おばさまも
きっと無事よ

だから
諦めないで
探しましょう



な...なに？

ボロン♡

この
大きさ？



悪いけど...
こんなの
全部は入らないわ
半分くらいなら...

バカ言うな
お前経産婦だろ？
この穴から
ガキひりだした
くせによ

そ...それと
これとは
ちがつ...♡
違うわ!!

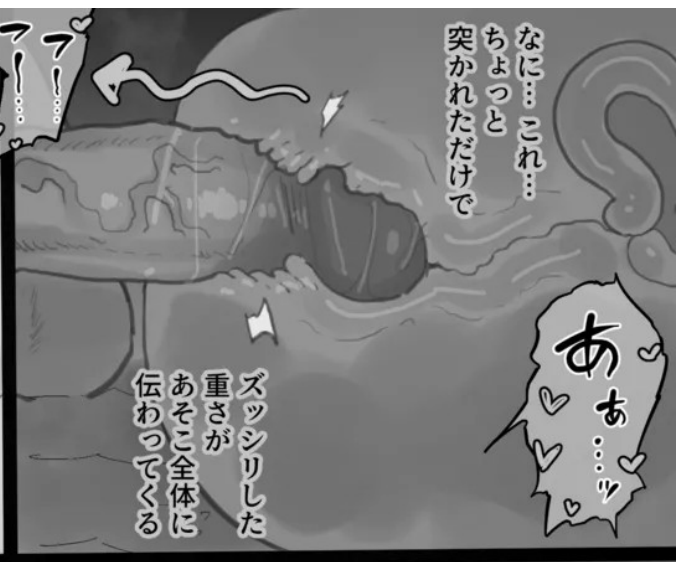
マンコ緩めろって
そんなガチガチじゃ
入らねえだろ？ 笑

そんな
ビビんなよ
おばさん
ククッ

こんな暴力的な
サイズ...
初めて見た！

あ...
あ...
あ...
来る...

すぐイかせて
やるし
絶対気に入るぜ
俺のチンコ♡





ごめん
由佳ちゃん…
俺たち別れよう



18歳で優斗を
身籠ってすぐ
あの人は
私たちを捨てた

あの子を快樂の
おまけかのように
扱った彼のせいで
私は男性不信に陥った



私に言い寄ってくる
数え切れないほどの
男たち…

男なんて結局…
皆同じだわ



そうしているうちに
女としての自分を
少しずつ忘れていった



だけど…
私は幸せだった
優斗は私の期待を
遥かに超えて
すすくと
よく育ってくれた



母さんまだ若いなら
寂しくないのかなって
母さんの人生だって
大事なんだから…

今になって
ようやく少し
勇気が湧いて
きたのに…



私の外見しか
見てないんだから



えっ？

なによこれ
おろして!!
あっ♡

うるせえな
黙ってマンコ
締めとけ!

ものすごい力!!
私かなり重いの
にオモチャ扱い
されてる!!

本当に優斗と
同じくらいの
歳なの？

この体位で
やったことある?
由佳ちゃん♡

やだあ...っ
こんなの
耐えられない!!
またイっちゃう

あああくる♡
だめだめだめ♡
きちゃうう♡

だめっ!!
やめでえ!!
お願いっ!!

突くたびに
潮吹いてんじゃん
ちゃんと水分温存
しとけよ



母親としての尊厳を
壊されちゃう...

おうっ

んおおく...

ハハハ
またいったな
由佳ちゃん♡
オナホの資格も
バッチリだ♡

おほっ

ズッ
チャアアッ



そんじや
今度は気持ちよく
一緒にイこうぜ♡

んん

あああ...
イイ...♡
最っ高♡

つっても
由佳ちゃんの
マンコ名器すぎて
俺もすぐイきそう
だけだな

おちゅ





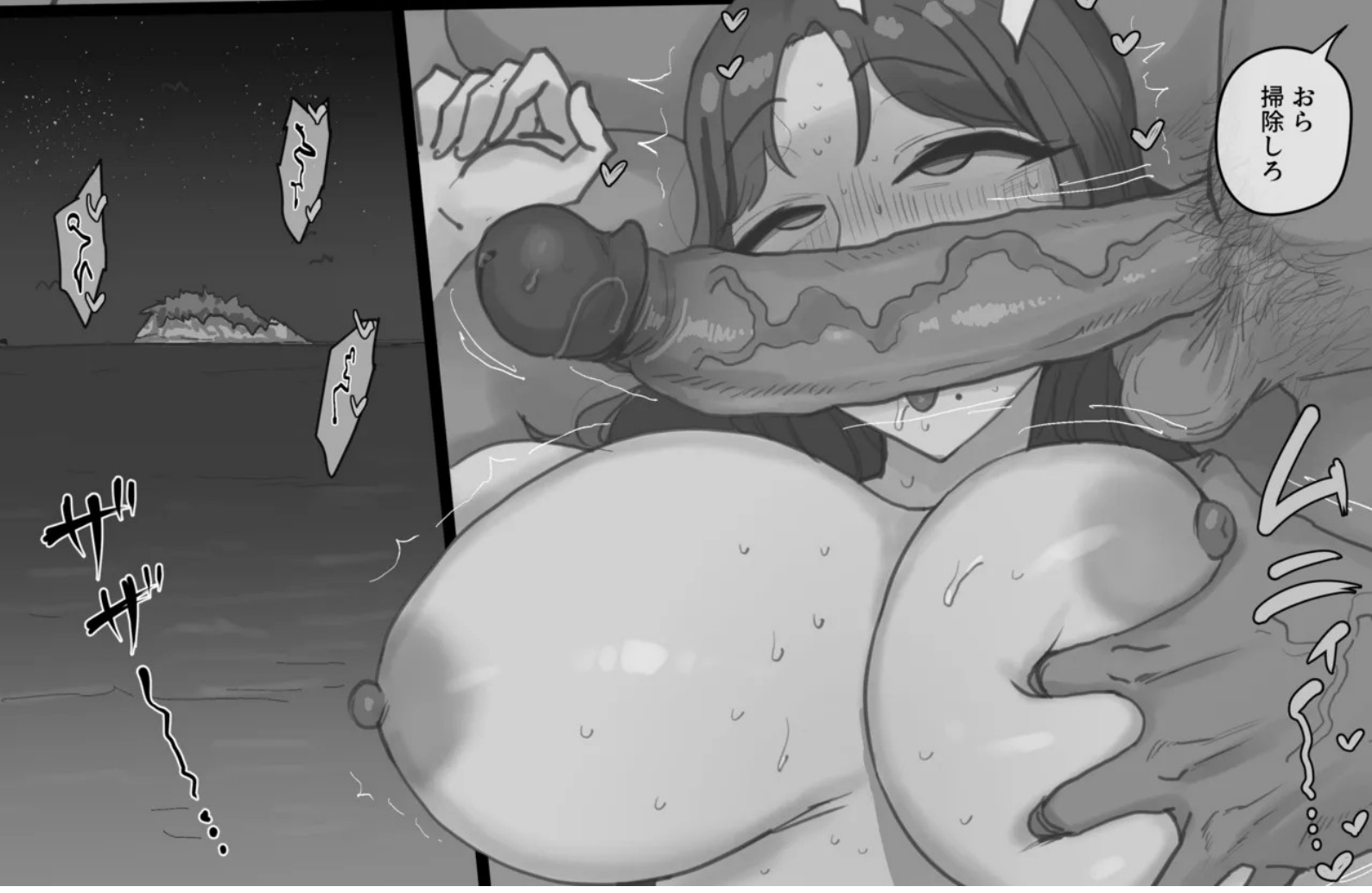


はあ…
最高…♡

はあ…♡

よしこれで
救助代は精算完了
それとついでに…
明日の島への交通費も
前払いで貰っておくか

このまま
日が昇るまで
やりまくるぞ♡



おら
掃除しろ

はあ…♡

はあ…♡

はあ…♡

DAY-02

母さん!!

おばさん!!

母さん…
どうやって
ここまで?
怪我はない?

ええ
大丈夫よ

あなたたちこそ
怪我はない?
みんな無事で
よかった



オイオイ
全員生きてん
のかよ笑

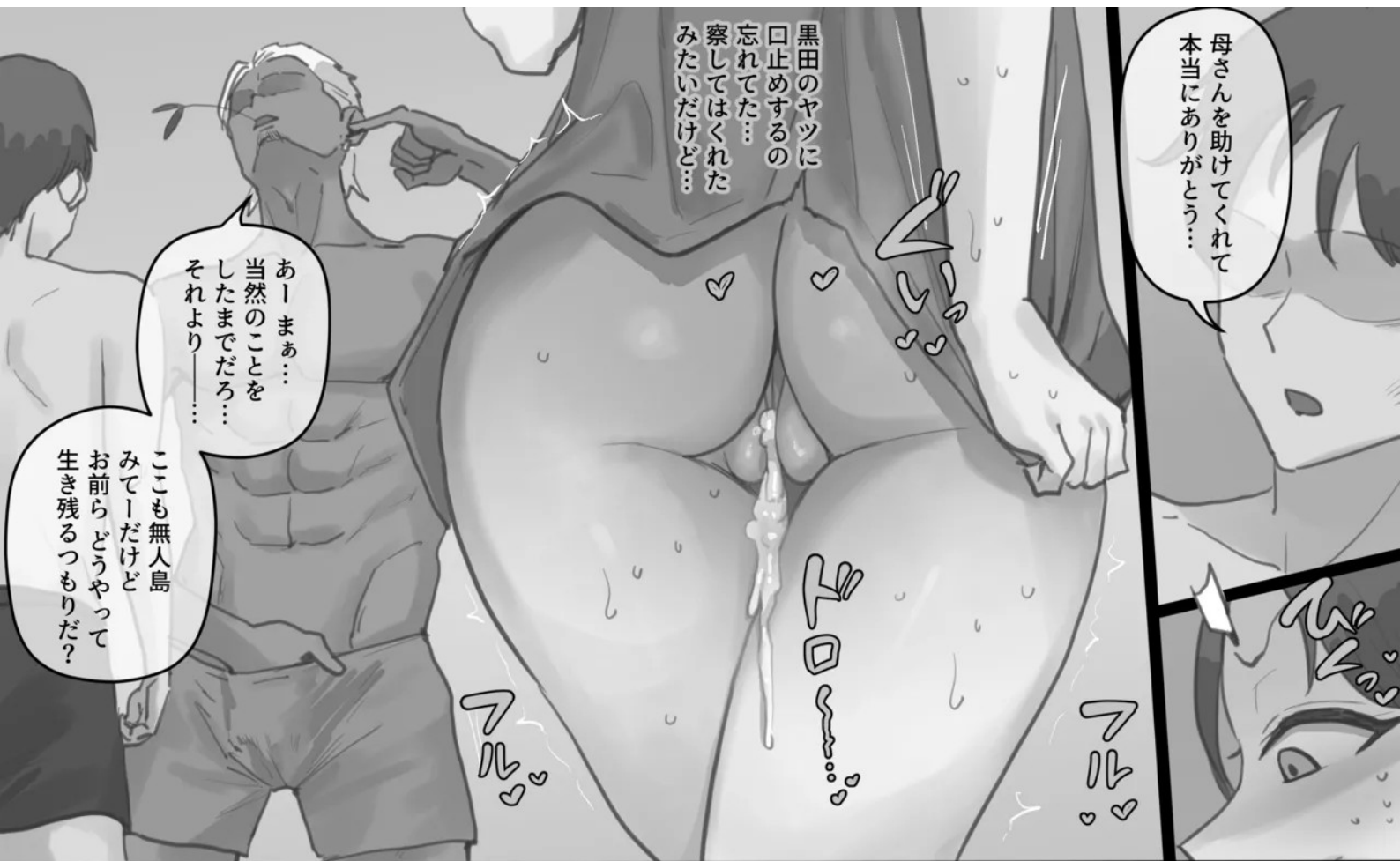
これぞ
奇跡って
ヤツか?

な…なんで
お前が?

母さん…
どういうこと?









まるで何度も
こうした危機を
乗り越えて
きたかのように
場を仕切っていた



アイツは
一切の迷いを
見せず



俺が本で学んだ
知識なんて
この場所では
ほとんど
役に立たない



アイツが現れてから
彼女たちは
みるみる落ち着きを
取り戻していった



そして俺は
自分自身について
改めて考えさせられる
ことになった



もしかしたら
過去の記憶に囚われて
アイツをちゃんと
見ていないのは
俺自身なのかもしれない…

れろっ
れろっ
れろっ

アイツは…
完全に違う人間に
なって帰ってきた



：にしても
黒田のヤツがあんな
役に立つなんてな

黒田くんね…
軍人のお父さんに
教わったそうよ…

今は本人も傭兵として
世界を回りながら
暮らしているとか…

ザザ？

えっ？軍人？！
それ本当？
どうりで
手慣れてるって
思った…

ちえっ…
それでも
気に入らないな
あの偉そうな
ドヤ顔…



おい優斗…
これで終わりだと
思うなよ

いつか必ず
叩き潰してやる



おばさん
アタシね…
ポジティブに
考えるよ

救助隊が来るまでの
素敵なバカンスを
過ごすって
考えることに…





待ちくたびれたぜ
アイツらは寝たか？

ほら
さっさと脱いで
こっち来いよ♥

うおっ♥
由佳ちゃんの
身体エツロ♥♥
やっぱ10代で
子供産むだけは
あるわ

昨日夜通しやつて…
今日は二日中働いたのに
どんな体力してるの？

私を見るなり
勃起させて…
これが若さ
かしら…

うるせーっ!!



機嫌がいいわけ
ないでしょ…
毎日2回も射精
させてくれなんて
やりすぎよ…

そんだけ
由佳ちゃんのこと
好きってこったよ
その怒った顔も
可愛いね♡

おお…
えっ…♡

でも昼からずっと
不機嫌そうだな？
先に取引を
持ちかけたのは
由佳ちゃんだろ



初めて会ったときも
28くらいにしか
見えなかったぜ？

ドキッ♡

心にもないこと
ばかり
言わないで！
大人をからかって
楽しい？

あ？本気だって
俺の同年代の
誰よりもずっと
若くてキレイだぜ
由佳ちゃんは

結局ただ私を
犯したいだけ
でしょ…

むちゃ♡
どちゃ♡

…ふん！
20代だなんて
バカ言わないで…
そんなお世辞で
私が喜ぶとでも？

ぬちゃ♡
♡

私を弄びながら…
完全に自分のペースに
巻き込んでる…っ

ほんつと
生意気なヤツ…

とろ…

ムニョ〜…♡

…もういいわ
時間の無駄だし
さっさとイかせて
終わらせてやるん
だから…

れろ…
れろ…

ぬちゅ♡

ぬふ♡

れろ♡

いく時は…
ちゃんと…っ
声に出しなさいよ…んっ

これ…
すげえな…
おお…

れろ♡
れろ♡

ぬる〜♡

ぐぽ♡

ぐぽ♡

ぐぽ♡

ぐぽ♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

くうっ…
パイズリフェラ
マジで最高!!



このっ：クソ野郎！
うっ：精液の匂い！

イク前に言えって
言ったでしょ!!

飲み込んだじゃった
じゃないの...!!



やめて!!
余計なこと
しないでっ!

そんじゃ
本番いくか
由佳ちゃん♥



ああ：
クソ可愛い
キスしようぜ♥
舌だせよ

黒田くん！
一回セックス
したくらいで
私を軽く見ないで

いい？
はつきり言っておくわ：
私は優斗の母親なのよ！
アナタなんかより
ずっと大人なんだから！

もう二度と気安く
由佳ちゃんだなんて
呼ばないで
おばさんって
呼びなさい！

約束どおり
今日2回目の射精
だったんだから
私はもう帰るわ

ん？
そうだったか？
ああこそ…
夕方フエラで
一発抜かれてた
んだっけな…

じゃあ
仕方ねえ…♥

えっ？

射精しないで
セックスする
しかねえな...

この...っ!
クソ野郎!!

俺はセックスしねえと
眠れねえんだよ♥
だからやろうぜ
由佳ちゃん♥

クリがぶつくり
勃ってんぞ
由佳ちゃん♥
大の大人がそんな
赤ちゃんみてえに
泣いていいのか?
ん?♥

クンニなんて
恥ずかしくて
死にそう...!!

返事するまで
止めねえからな♥

いやよっ!
絶対に約束は
守って!♥

今日は
だめえっ♥

ああだめ
もうムリ!!
イクっ♥
イっちゃう!!♥

ったく...
マジで頑固
だな♥

クソっ
仕方ねえ...
おらいけっ



イけっ
!!!!!!

ああ…結局…
また今日も
やってしまった

この男のセックスは…
強引で圧倒的で…
女を無理やりイかせて
しまうセックス…

死んでも
認めたく
ないけど…



長い間
男を避けてきたせい
…だけじゃない…
この男のセックスは
明らかに他と違う

毎晩こんな快楽に
慣らされてしまったら
絶対に危険…

奥まで満たしてくる
この男のペニスは…
抜けたときにこそ
空っぽになった寂しさを
思い知らせてくる…

だから
今日は耐えようと
必死だったのに…



今日一日中
この男とのセックスを
思い出していた
優斗と一緒にいるとき
でさえも…

この歳になって
いくつて感覚を
初めて知ったくらい
スゴかったから…

昼間は精子で子宮
パンパンにしなが
らよく平然と息子と
会話出来たなあ？

あれそそったぜ
俺らだけの秘密
みたいでさ♡

そろそろ
日付も変わった
かもなあ？♡

一人でいくのも
寂しいだろ？♡

ケダモノみたいに
私が私じゃなく
なっちゃう…っ

おおっと♡
またマンコ
締まってんぞ
♡♡





あぁっ
いくっ!!

このクス…
結局 最初から
中出しするつもり
だったのね…

お
お

お
お



あ…中で
震えてる…
二回目に
こんなに…

は
あ…

は
あ…

は
あ…

は
あ…

あああ♥
いくまた
イっちゃうう
♥♥♥

うおー…
やべえ…
中出し最高♥

おん
お
お

脳が溶け
ちやいそう…

こんなの
もう無理…

ぬ
ふ
…

おいおい…
マンコが咥えこんで
放してくれねえよ♥

優斗ママは
チンポが大好き
なんだなあ♥

はあ…

あ

あ

DAY-15

バサバサ

キ
ア
ア
ア

無人島に漂流して
もう15日目――

救助の希望は
だんだんと
薄れていつて
いる





最近
明らかに母さんは
俺よりも黒田を
頼りにしている

おいガタガタ
うるせえぞ！
お前ら全員
俺に命預けて
んだろうが！

弱けりや死ぬだけ
当たり前だろ？

浜辺に戻って
夕飯の準備でも
してろ

俺はここで
後始末していく
からよ

そんな母さん
を見せつけられるのは辛い
が俺にはどうすることも…

優斗…
お母さんも残って
黒田くんを手伝うから
あなたは先に戻りなさい
気をつけてね…

美咲ちゃんと
涼子ちゃん
お手伝いをして
夕飯の準備
お願い

優斗…

いや…
やっぱ一人
残って手伝え！

なんだ誰も
いねえのか？

おい優斗…
俺の魚は
カリッと焼けよう
生臭いのは
勘弁だからな
ククッ

こんな時に
俺のチンポ
欲しがるのか…
息子に見られたら
どうすんだ？
由佳ちゃん♡♡

んっ…♡
ただノルマを
こなしている
だけよ…

またまた笑
最初からマンコ
びしょびしょに
してたくせに

この島では
不安と恐怖が
影のように
まわりつく

正気を保つためにも
少しのあいだだけでも
忘れたい…

いつになったら
素直になんの？
由佳ちゃん♡

快楽に身を
委ねている時だけは
苦しみを
忘れられるから

初日から
一日も欠かさず
やってるんだぜ？
もう夫婦みたいにな
もんだろ♡

もう優斗を
仕込んだ男より
俺のほうが突いて
やったと思うけど
どーよ？♡



おい：寝てんの？
由佳ちゃん♥

だめ：言っちゃだめ：

だめ：なのに：

く：黒田くん…の：

黒田くんのおチンポ…大好きよ♥

はあ…はあ…はあ…

お

お

お

やっぱ面と向かって言われるとキくぜイイ子だな
由佳ちゃん♥

ああ：言っちゃった♥
すごいのがキちゃう♥
ごめんね優斗♥
お母さんイっちゃう♥
今日だけ許して…♥

もう二度とこんなはしたないこと言わないから♥

おらマンコ締めろっ!!
ご褒美に俺の精子で
たぶたぶにしてやるよ♥

なな〜ん



ハハハ
相変わらず
弱いな

意地張ってないで
タップしなよ
優斗

ぐっ…
いやっ…
まだまだ!

昔は色々誘っても
相手してくれ
なかったくせに…

なんで急に
ガチになってんの?
もしかして黒田を
意識してるのか?

むぎゃ〜♡

アイツ…
別に問題も起こさず
うまくやってるじゃん

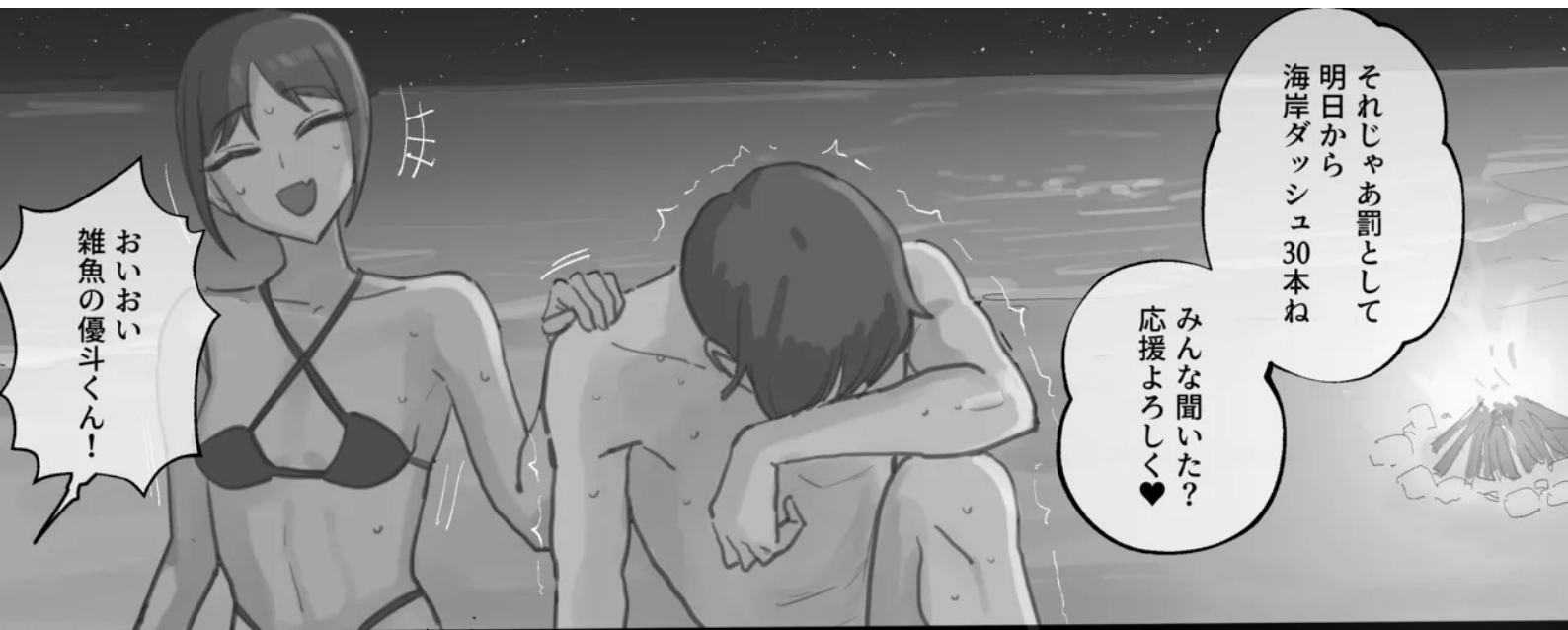


むしろ
黒田のおかげで
アタシたち
やっていけるし…

思ってたより
まともな奴
なのかも…

や…やめて
ストップ!!

パチ
パチ



それじゃあ罰として
明日から
海岸ダッシュ30本ね

みんな聞いた?
応援よろしく♥

おいおい
雑魚の優斗くん!



馬鹿言うな!
これでもアタシ
プロだから

誰彼構わず
相手はしないよ!

なんだ
偉そうに...

そんな
体重差も
考慮して...



女一人
倒せねえとか
致命的だろ笑
去勢でも
されてんのか?

涼子
俺とやろうぜ



俺は右手は
使わねえ

それでも
5秒ありや
楽勝かな?

...



ついでに
賭けようよ

5秒超えたら
全裸になって
アタシの股の間を
犬みたいにぐぐれ

女だからって
舐めてるみたい
だけど...

路上の喧嘩ぐらいしか
したことないアンタと
アタシじゃ格が違うから

別にいいぜ!
じゃあ5秒以内に
俺が勝ったら――

お前のマンコでも
いただこうかな



涼子!
挑発に乗るな!

ハハハ
心底イカれた
変態野郎だな
...好きにしま!

にしてもアンタ
自分のモノに
ずいぶん自信ある
みたいだけど...

ドキ...

アタシは
デカくないと
男として
認めないから!!

おー
いきなりかよ?
じゃあカウント
スタートだ!

這いつくばる
準備を……

馬鹿な奴:
毎日男相手に
組み手して鍛えた
耐久力だ

いくらガタイが
良いからって
プロのアタシを
5秒でなんて
無理に決まってる

力で強引に
返そうとするほど
アタシに利がある

2

どうやって
食おうかな
最初はやっぱ
正常位か?

かし、

は?

バックも
捨てがたいが

え?
いつの間に
右足を?!
ちよつと
待って!

1

3

5

4



ああんッ

ガッガッ♡

涼子!!!

楽勝すぎだろ!!

なんだ今のは...?
あつという間で
目で追えなかった!!

おおー...
ケツでっけえな...♥
やっぱ鍛えてるだけ
あるわ

マン肉も
ぷりぷりで
美味そ〜♥

あん

ゆ：優斗!!
見るな!!

見たら
殺すよ!!

涼子!!
しっかりしろ!!

この状況で
まず気にするのが
優斗かよ?
匂うな〜?

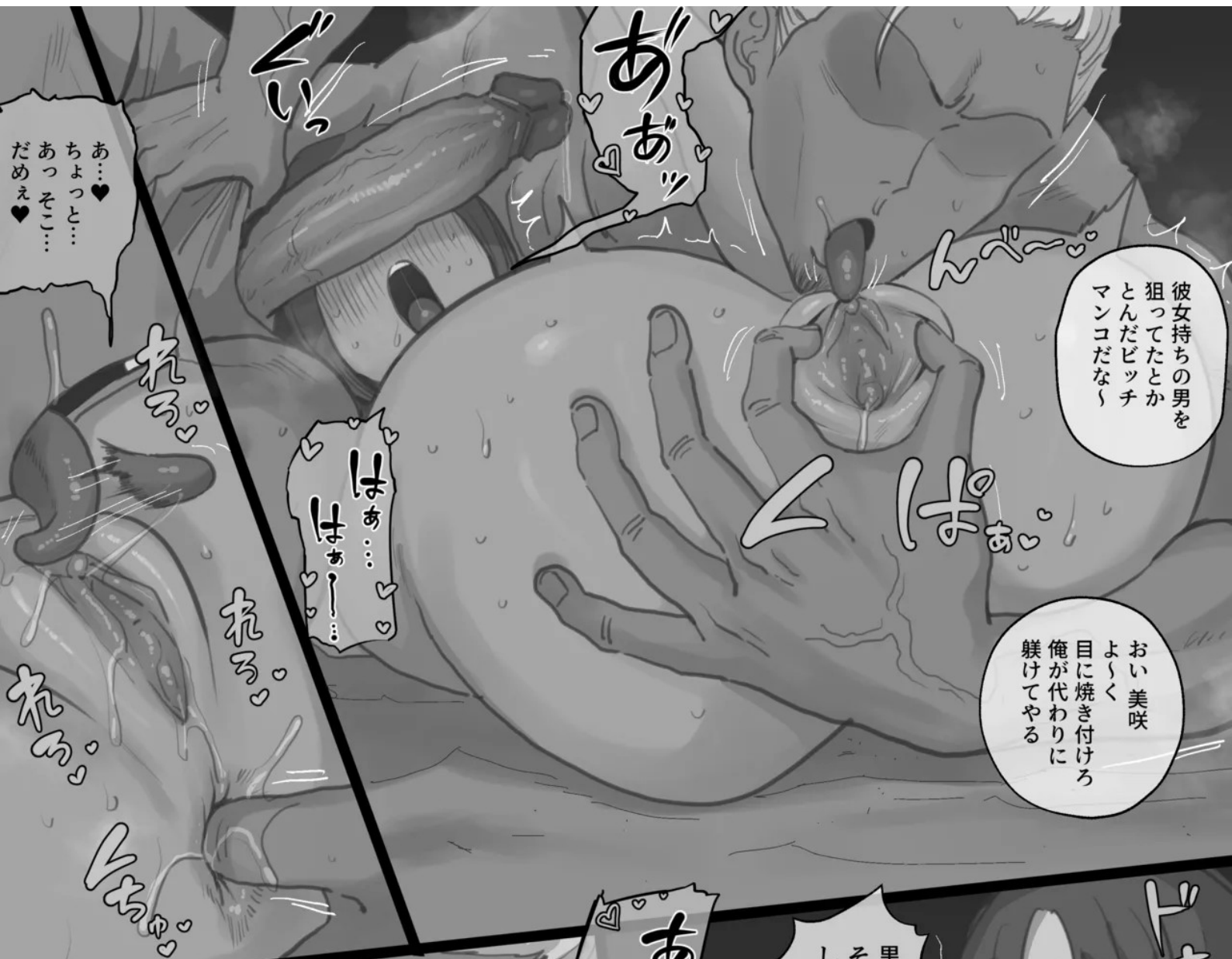
そういや...
お前ガキの頃から
ずつとアイツに
付きまたってたな

な...なに?
この大きさ...

お前...
優斗のこと
好きなの?

ち：違うッ!
変なこと言うな!
早く放せ...ッ!
殺すよ!

も...
もう一回!
もう一回!
勝負しろっ!



彼女持ちの男を
狙ってたとか
とんだビッチ
マンコだな

おい美咲
よく
目に焼き付けろ
俺が代わりに
舐めてやる

あ...
ちよつと...
あつそこ...
だめえ

れろ

れろ

はあ...
はあ...
はあ...

れろ

んちゃ



黒田!!!
そこまでに
しろっ!!!!

あん

あ...
あ...
あ...

口だけじゃなくて
かかってこいよ
いくらでも
相手してやる

後悔する間もなく
さっきの死体の横で
寝ることになるぜ
分かったか?

クク
ビビりすぎだろ
おいしい優斗くん
先生でも呼びに
行ったらどうだ

ゆ...優斗には
手出すなよ
あつ♡
ころ...すよ...

黙れ！
負け犬オナホは
チンコでも
しゃぶっとけ

おら！
どうだよ
俺のチンコは
合格か？

ぶはっ♡

バカ優斗！
ポ一っとしてないで
行きなさい！
アタシは平気！

アタシが
油断したせい
なんだから！

うるせえよ！

ごめん…
涼子…

足が動かない…
だけど逃げたくも
ない…

何もできない…
アイツが怖い…
立ち向かおうとすると
足がすくむ…

うおおお…
きつつ♡♡♡

お…
涼子マンコ
いいじゃん♡♡

自分で自分が
許せない…
なんで俺はこんなに
卑怯で情けなくて
弱いんだ…!!

あっ
まっ…

あ
あ

お
お
お…





やっぱ！
お前処女
だったのかよ！
クハハハ
そのくせあんな
イキってたとか♡

こんな極上マンコを
放置してたとか
優斗 お前インポか？

おおお...お...♡

んお♡

ギョ♡

ズズズ♡

ズズ♡

ギョ♡

あゝどんどん
締まってくる♡
すぐ気持ちよく
してやっからな♡



優斗！
待って！！

お♡

結局
何も出来ずに
逃げるだけかよ
ゴミだな笑



これからは
発情期の犬みてえに
毎日犯してやる♡
一緒に楽しもうぜ♡
涼子♡

おお♡

おお♡

んお♡

!!

あなたは本当…
救いようが
ないわね…

おっ
拗ねてんの？
第一夫人の
プライドから？
由佳ちゃん♥

おら来いよ
3Pやろうぜ
第二夫人
涼子の歓迎会だ♥

おばさん？

はあ
はあ
はあ…

あ…
もう…
やだよ

おう
おう
おう

ふか…
あ
あ

勝手にしなさい…
もう見たくもない…

照れてんのか？
なら先に戻ってろ
また後で可愛がって
やる♥

由佳ちゃんの
マンコに
寂しい思いは
させねえよ♥

んが
んが

おが
おが

たん
たん
たん

この…野郎
おばさんに
なにしたの?!

はあ…
昼はノリノリで
チンコ啜えてたくせに…
女ってこえーな♥

あーん

お

あれ…マジで
行っちゃった?

気にせず
楽しみやいいのに
頭固いな♥

ん

クズ野郎あつ♥
アンタ…んっ♥
気狂ってんじや
ないの?!
死ねっ!!

黙れっ!

そんなクズに
犯されながら
乳首ビンビンに
してるのは
誰だよ♥

こんなに
気持ちいいことを
教えてやった
俺に感謝しろよ

しっぽ巻いて
逃げたアイツとじゃ
一生こんなセックス
出来ねえぜ♥

にしてもよお...

優斗の奴..
お前じゃなくて
美咲が犯されてたら
逃げたと思うか?

違うっ!
逃げたんじゃ
ない!!
優斗は..

おっと...♥
ようやく俺のが
馴染んできたか?♥

考えてみれば
優斗は——
一度も逃げたこと
なんてなかったよね
だっていつも
アタシがそばにいたから…

優斗はアタシのこと
女として見てくれたこと
一度でもあったのかな…

美咲はいいな…
優斗の大切な人で
いられて

アタシのほうが
先に好きに
なったのに…

それでも——
待つてんだよ
優斗がアタシを
見てくれるその時を

いつだって
優斗のそばで…







ほら…

おいで

優斗のせいじゃないわ

翌日から涼子は
俺たちの小屋には
戻ってこなかった

さんざん
強がってたくせに

もう自分から
腰振ってんぞ

淫乱だな
涼ちゃん

あ

イけ

おお

俺は毎晩
涼子と話そうと
黒田の小屋に
通ったが：

聞こえてくるのは
涼子の喘ぎ声だけ
だった

あれは涼子を
失望させてしまった
俺への復讐なのか？

んお

お

出すぞっ!!
もっとアナル
締めろッ!!

おおおー……

日を追うごとに
変わっていく
涼子の姿に
頭がついていかない

ああ……
めっちゃ出た……
最高♡

ククッ
おい 優斗の
あの呆けた顔
見てみるよ

れろ……

それでも
諦めるわけには
いかない

昼から
ほぼぶっ通しで
やったのに
まだガチガチなの？♥

こんな
エロいケツ
見せつけられて
我慢できる男
いねえよ

変態野郎♥

あーっ♥

ぬちっ♥

うーっ♥

いいだろ？
涼ちゃん♥
早くやろうぜ♥
次はマンコに
挿入れっから♥

ほんとイかれてる…
アンタお猿さん？
もう寝る時間だって♥

メスより
先に寝るとか
オス失格だろ〜♥

ぬちっ♥

んっ…



膣内とろっところで最高
マンコ気持ちいいか？
涼ちゃん♡

涼ちゃんのベロ
柔らか♡

あんっ♡
気持ちいい…
セックス好き♡

はぁあぁあ…♡

お前のこんな
エロい顔
優斗は絶対に
見れねえだろうな♡

キスも
好き♡

ポルチオ
こねられてる
メスのトロ顔♡



涼…！

あん…
また…♡

なあ涼子!!
出てきてくれ!
せめて話だけでも!

ねえなんで
毎晩小屋の前
うろついてんの？
アンタ変態？

おいおい優斗
お前そんな趣味
してたのか？

外で話そう
涼子：

優斗見える？
黒田のチンコが
ずっぶり刺さってて
出られないの♡

アンタのって
コイツのよりデカイ？
見せてみなよ
デカけりゃ話したげる♡

入っていいぞ
中でシコってろ笑

れろ♡

ぬぢ♡

涼子：
戻ってきてくれ
みんな待って
るんだ！

見せる度胸も
ないなら失せろ
邪魔だから♡

...

おばさま：
お手洗いに行ったり
全然戻ってこない！
どうしたのかしら…？

はあ…
はあ…
はあ…

あ…

あ…

あつそこ♡
気持ちいい♡
もつと…♡

優斗あなた
女々しいのよ…
黒田みたいに
もつと男らしく
しなさい…

黒田みたいなチンピラより
卑屈で根暗なあなたの方が
もつと嫌い♡

あッ

んうっ♡

あ…

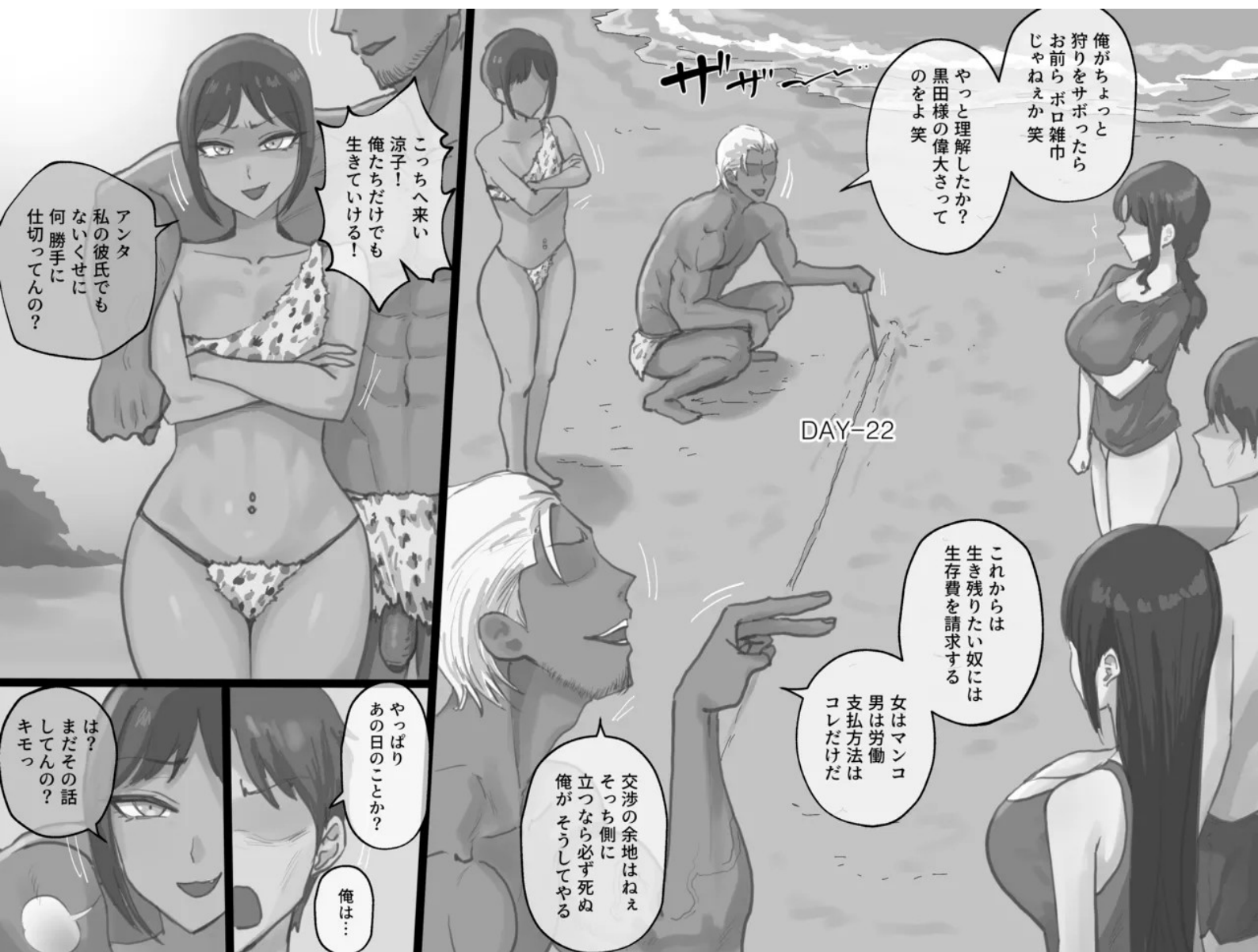
プライド無いの？
涼子にこんな扱い
されてるのに…

ああッ

「戻ってきてくれ」
なんて泣きつくなんて…
母親として情けないわ♡

ほんとダメな子…♡
馬鹿なヤツ♡♡♡





俺がちょっと
狩りをサボったら
お前らボロ雑巾
じゃねえか笑

やっと理解したか？
黒田様の偉大さって
のをよ笑

DAY-22

これからは
生き残りたい奴には
生存費を請求する

女はマンコ
男は労働
支払方法は
コレだけだ

交渉の余地はねえ
そっち側に
立つなら必ず死ぬ
俺がそうしてやる

こっちへ来い
涼子！
俺たちだけでも
生きていける！

アンタ
私の彼氏でも
ないくせに
何勝手に
仕切ってるの？

やっぱり
あの日のことか？

俺は…

は？
まだその話
してんの？
キモっ

そうそう
実際にやってみたら
セックスって
最高だったよ♡

それともこう
言ってみてやらないと
分かんない？
弱っちい男には
心底うんざりなの♡

反論ないなら
これで終わりね
アタシたち
今から昼食だから♡

それに黒田を選ぶ理由なんて
他にもいくらでもあるし♡

そうだよ…
僕は大した
男じゃない…

…でも
周りの人のおかげで
今まで生きてこられた

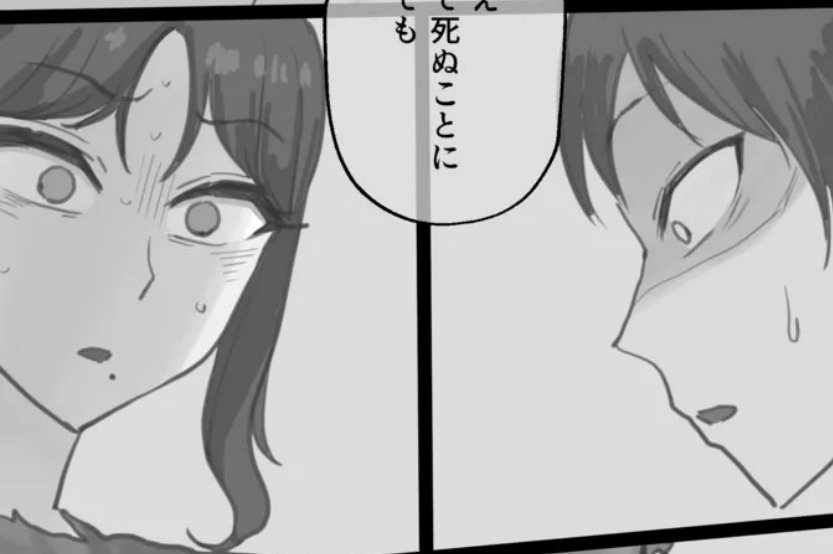
俺には
涼子が必要なんだ…
いつでも戻ってきて
ずっと待ってるよ…

はいはい♡
じゃあ回れ右して
美咲のおっぱいでも
吸ってなクズ♡

俺にとって涼子は
家族も同然だから



たとえ
ここで死ぬことになっても



もう十分でしょ
優斗はずっと
あなたを心配してたわ
自分を責め続けながら…

あの日のことだって
挑発に乗った
あなたにも
非があるでしょう
だからいい加減
戻ってきなさい

こんな姿
あなたらしく
ないわ

あんなクズのせいで
あなたまで
下衆に墜ちる必要は
ない



じゃあ
アンタから
死にな!!

あぐっ

金持ちのお嬢さまには
命が二つもあんの?

何してるんだ!!
やめろ涼子!!

そのムカつく口
二度と開かなくして
あげよっか?!



言っただよな?
もうお前らは
庇護の対象じゃねえ

早い者勝ち
だぞ♡

あゝあゝ...
誰もいらねえ
ってよ...
そんじゃ—

はい注目!
優斗くんの命
売りまゝ♡
支払方法は
マンコのみです

優斗...
俺の女から離れて
後ろへ下がれ♡



黒田くん
ダメっ!!

やっぱり…
この状況を
狙ってたんでしょ?

5年前から
まったく
変わってない

いいわ…好きにすれば?
あの頃からずっと
私が欲しかったんでしょ?

ただ一つ覚悟しなさい
私たちを敵に回したら

今後お前には
安らかな夜は来ない

お前本当に
涼子を信用
しているの?

は? 美咲…
まだ分かんないの?
アタシはもう二度と
アンタらの元には
戻らないんだよ!



これから先
皆には指一本触れずに
私だけを相手しなさい

ただし
お前が一瞬でも
眠ったら殺す

どう？
取引する？

ぬぎっ♡



美咲
ダメだッ!!!!

美咲：
やっぱりお前は
俺が本気で惚れるだけの
価値がある女だわ♡

にしても
イイ体だな♡
ハメるには
もってこいだ♡

オーケー 取引成立♡
命がけの戦いならあるが
命がけのセックスは
流石に初めてだ♡
ゾクゾクするぜ♡



…
フッ



フ
フ…
フ
フ





DAY-22

美咲との取引
1日目

なんでアタシまで
拘束されんの？
まさか美咲の妄想を
真に受けてるとか？
ほんとムカつく!!

協力するって！
美咲なんて
さっさと堕として
アタシとやろうよ！

ははっ
心配すんなよ
涼ちゃんのことほ
マジで信頼してる♥
ただ美咲の条件に
ノってやってるだけだ
ゲームは公平性が
命だからな♥

じゃあ美咲が
調子に乗らないよう
ちゃんと分かせてよ！

ククッ
わかったって♥
もうちょい待ってろ
パパッと終わらせて
遊んでやっからよ♥♥

こいつ…
確かに気がかりね

恥ずかしがり屋の
乳首ちゃん
みつつけた♡

まさか涼子まで
拘束するなんて…

ほらほら♡
乳首ちゃん
出ておいで♡

れろん♡

れろ♡

むい♡

優斗…大丈夫よね？
勝手なことしてごめんね
でもこのままだと
こいつがおばさまにまで
手を出すのは
目に見えてるから…

私が
殺してやる…
絶対に…

あそうだ…
お前優斗と
やったことあんの？
初めてはいつよ？♡

ぢゃる♡

答えろよ
美咲♥

美咲…
昨日の
大丈夫だった？
俺初めてで
緊張してさ…

うん…もちろん
気持ちよかったよ♥
全然痛くもなかったし

そうだ…！
次の日曜日
私の家来ない？
誰もいないから
…♥

本当？
行くよ！

おっ
もしかして今
初体験の時
思い出した？♥

あ…

それと…
多分その日は
安全日…かも？♥

ダメ…
危ないよ！
ちゃんと
ゴム用意
するから

え…優斗は
シたくないの？♥
私なら大丈夫だよ
優斗が望むことなら
なんでもしてあげる♥

はは…
そういうのは
結婚まで
取っておこうよ

あーん♥

またな
乳首ちゃん♥

黙って…
その汚い口を
開かないで

れろ
れろ
ちゅる

ほら見ろよ♥
乳首出して
やったんだぜ
挨拶しろよ♥

…ふんっ
あくまでも
無視決め込む
つもりか？

くっ
くっ
くっ

ノってくれた方が
すぐ射精できるぞ？
したら疲れて
眠くなるだろ？
協力するのが
吉だと思うがな♥

もっかい聞く…
これ好きか？♥
興奮したか？♥

はあ…情けな
たかが乳首が片方
見えただけで
馬鹿みたいに喜んで…
お前こそ
好きすぎじゃない？

優斗よりも
時間かかってるし
こんなもの？
まったく感じ
なかったけど？

あー…
マジか？
ククッ





汚い指で
そこを？

アイツのサイズで
慣らしてみっか？

指一本…？

それとも
二本か？

ん…
膣内は
濡れてるか

女性への敬意なんて
欠片もない最低男！

こんなのを
好きになる女
いるわけないっ！

ぬるっ♡

ん…♡



耐えるっ!!
耐えないと!

ぢゅる♡

ぢゅる♡

おっと
この締まりは
二本で当たり♡

しかし
指二本分って
粗チンすぎだろ

お見つけた
ここだろ?
ククッ

ぬちゅ♡
ぬちゅ♡
ぬちゅ♡
ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

最悪の展開だ！
アタシ一人でも
あと少しで
やれたはずなのに…

やっぱり美味も
アタシと同じ考え
だったんだ…

このクズ
無駄に用心深い…
あれだけしたのに
まだアタシを
信用してないのか…

絶好のチャンス逃した…
この首輪さえなければ
簡単に殺せたはずなのに…

ちゅるるる…

よく耐えれんな？
そこまで意固地になる
必要ねえのに

どうする？
おばさんも
限界が近いかも
しれない…

うお…見ろよ
糸引いてんぞ♥
指がふやけちゃう♥

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

ぬちゅ♡

覚悟しろよ
俺のは優斗のとは
次元が違うぜ

なによ
このサイズ
気味が悪い...

あらら...
さっきまでの
余裕な表情は
どこいった?

1分ももたずに
ぐずぐず泣きながら
後悔することになるぞ

クリも
ぷっくりじゃん
美味♡

ふざけないで...

ああ
うっ
うっ

ドキ

ああ...
やだ...田

ぬふ...

ぷっ
ぷっ
ぷっ

ぷっ
ぷっ
ぷっ

ああ…♡
チンコ溶ける♡
美咲マンコ
最っ高だわ！

よく覚えとけよ
この太さも形も
膣内に刻みつけて
やる

ぎゅんん♡

これ…嘘でしょ？
触れちゃいけない
ところにまで
届いてる…

あああ♡

優斗は届かないところまで
無理やり押し込んでくる…

吐きそう…

…は？

オーダーメイド
かっくらいい
キツキツな上に…
チンコに絡みつく
ヒダ…

体温より少し
高いくらいの温かさ…
ヒダの感触を損なわない
完璧な濡れ方…

そしてこの膣圧…
ただ狭いだけのとは
レベチだ…

嘘だろ？

ぬぢゅ♡

動いてねえのに
マンコがうねって
搾ってくる…♡

なっ？！

ちよっ…
なんだよ…
このマンコ…

あっ♡



ゆ：優斗?!
目が覚めたの？

優斗!

やっぱり…
俺の知ってる涼子だな
どうして相談してくれ
なかった…

美咲のこと
本当にごめん…
アンタにあんな
酷いことしたのも…

黒田の信頼を
得るために
仕方なくて…

アイツ…
アタシが寝てるか
頻繁に確認するほど
だったから…

アイツを完全に
騙そうとしたせいで
全部台無しにして
しまった…

いや…
まだ終わってない
これ：隅で
見つけたんだ

受け取って…
美咲を救ってくれ

頼む…
母さん…
涼子…

この悪夢を
終わらせてくれ…っ